

片品村 道の駅 尾瀬かたしな
個別施設計画

【令和3年度から令和12年度】

片 品 村
むらづくり観光課

1. 計画の位置づけ

片品村道の駅尾瀬かたしな個別施設計画は、平成28年10月に策定された片品村公共施設等総合管理計画を上位計画とした個別インフラ長寿命化計画として位置付けられます。

2. 対象施設

本計画では、「道の駅尾瀬かたしな」の建物及び設備を対象とする。

3. 計画期間

本計画の期間は、令和3年4月から令和13年3月までの10年間とする。
なお、計画の内容については、5年ごとに見直しを行う。

4. 対策の優先順位の考え方

当該施設は村民と片品村を訪れる観光客に憩いともてなしの場を提供し、相互の交流を促進するとともに、地域産業が連携する拠点として、観光及び地域情報の発信を行い、もって村全体の振興並びに活性化に資するため設置された経緯があり、道の駅として利用者の出入りが多くあることや、村外から訪れる観光客が多く利用するといった当該施設の特性を踏まえ、利用者の安全確保を最優先に考え修繕を行っていくほか、施設自体が「稼ぐ力の核」となることが求められていることから、更なる発展性を目指した改築を必要に応じて行っていく。

次に、施設利用の継続性を考え、施設を利用するために必要な修繕を行っていく。

5. 個別施設の状態等

(1) 施設概要

1	名称	道の駅尾瀬かたしな
2	所在地	群馬県利根郡片品村大字鎌田3967番地1
3	構造	鉄筋コンクリート造一部木造 平屋建て
4	敷地面積	7,838.34㎡
5	建築面積	1,570.84㎡
6	完成年度	平成30年度
7	施設内容	館内：農産物直売所・スナックコーナー・食堂・村民キッチン・インフォメーション（事務室）・機械室 館外：ナチュラルガーデン・芝生広場・鯉のぼり広場・育苗ハウス・駐車場・物置・受電設備

(2) 施設の状態

道の駅尾瀬かたしなは供用開始から約3年と間もないため、特に目立った破損や劣化は見られないが、道の駅としての機能を向上させるための改築や補修は都度行っている状況である。

(3) 修繕等の状況

過去2年間の修繕等の状況は以下のとおりである。

年度	工事名
平成30年度	倉庫増設工事
令和元年度	ひろばチップ敷設工事
	乗務員休憩所新築工事
	風除けカーテン新設工事
	ドッグラン新設工事

(4) 入館者数の推移

過去2年間の入館者数の推移は以下のとおりである。

年度	開館日数(日)	入館者数(人)	日平均入館者数(人)
平成30年度	236	147,882	627
令和元年度	344	187,468	545

6. 対策内容と実施時期

(1) 対策内容

道の駅尾瀬かたしなは、供用開始から間もないため目立った破損や劣化は見られないが、施設の利便性や機能性の向上により利用者をさらに増加させ、地域の活性化に資することが求められることから、道の駅尾瀬かたしな運営委員会等の関係機関や関係部局等と協議のうえ、引き続き必要な改修を行っていく。

なお、建物自体の劣化を防ぐための改修は計画的に行っていく。

(2) 実施時期

必要な都度実施する。

7. 対策費用

対策費用については、道の駅 尾瀬かたしなの使用方法を検討し方向性を統一した後でなければ算定することができないため、方向性決定後に対策費用を算定する。